

所得税の 確定申告書は ご自分で作成してお早めに

2月18日(月)～3月15日(金)

所得税の確定申告とは

所得税の確定申告は、毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じたすべての所得の金額とそれに対する所得税の額を計算し、申告期限までに確定申告書を提出して、源泉徴収された税金や予定納税で納めた税金などの過不足を精算する手続です。

期限間近になりますと、申告相談会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくことが予想されます。申告書はできるだけご自分で作成して、お早めに提出してください。

※日本国内に住所を持っているまたは現在まで引き続いて1年以上居所がある方は、所得が生じた場所が国の内外を問わず、そのすべての所得について所得税を納める義務があります。

申告書を作成するときは

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額等を入力すれば、所得税、消費税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。作成したデータは、「e-Tax(イータックス)(電子申告)」を利用して提出することができます。また、「所得税の確定申告の手引き」や申告書用紙等は、国税庁ホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。

申告書の税務署への送付について

確定申告書を税務署に送付する場合には、「郵便物」(第一種郵便物)または「信書便物」として送付してください(郵便物または信書便物の通信日付印に表示された日を提出日とみなします)。確定申告書は「信書」に該当しますので、郵便物・信書便物以外の荷物扱いで送付することはできません。詳しくは、総務省ホームページをご覧ください。

※ゆうパック、EXPACK500、ゆうメール、ポスバケットでは、信書を送付することができません。詳しくは、日本郵便株式会社ホームページをご覧ください。

納付期限と振替納税の利用について

確定申告による所得税の納期限は平成25年3月15日(金)です。申告書の提出後に、納付書の送付や納税通知等による納税のお知らせはありません。納付には便利な振替納税をぜひご利用ください。

還付される税金がある場合の受取方法

還付金の受取りに振込みを希望する場合は、確定申告書の「還付される税金の受取場所」欄に、振込先金融機関名、預金の種類および口座番号(うち銀行の貯金口座の場合は、記号・番号のみ)を正確に書いてください。

なお、振込先の預貯金口座は申告者ご本人名義のもの(氏名のみ)の口座をご利用ください。

振替納税を利用	振替日(平成25年4月22日(月))に指定の金融機関の預貯金口座から自動的に引き落とされます。事前に口座の残高をご確認ください。 ※振替納税のお申し込みは、「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」を平成25年3月15日(金)までに提出してください。 ※振替納税は申告期限までに申告書を提出された場合に限り利用できます。 ※転居等により所轄の税務署が変わった場合や、すでに振替納税で指定している金融機関や口座を変更する場合には、新たに振替納税(変更)の手続が必要となります。 ※インターネット専用銀行等の一部金融機関およびインターネット支店等の一部店舗では、振替納税が利用できませんので、利用の可否については取引先の金融機関にご確認ください。
現金で納付	現金に納付書を添えて、納期限(平成25年3月15日(金))までに、金融機関(歳入代理店)または佐渡税務署で納付してください。納付書をお持ちでない方は、税務署または佐渡市内の金融機関に用意してある納付書を使用してください。 ※金融機関に納付書がない場合には、佐渡税務署にご連絡ください。
電子納税を利用	自宅やオフィス等からインターネット等を利用して納付できます。 詳しくは、e-Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。



平成24年分の所得税の確定申告の相談および申告書の受付は、平成25年2月18日(月)から同年3月15日(金)までです。佐渡税務署では、次のとおり申告相談会場を開設いたしますので、お早めの準備をお願いします。なお、還付申告をされる方は、平成25年2月15日(金)以前でも、佐渡税務署にて申告ができます。また、確定申告書は手続きをとってe-TAX(電子申告)による送信も可能です。詳しくは、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)で確認されるか、佐渡税務署にお尋ねください。

申告相談会場 アミューズメント佐渡 1階 はまなすホール

受付時間 午前9時～午後4時

※土・日は申告相談を行っておりません。